

演 目 及 び 粗 筋

演 奏 者

一 本 能 寺

天正十年六月、明智光秀は信長から「中国攻めをしている秀吉の援軍」を命じられて出陣します。途中で信長の滞留する京都本能寺へ進路を変えて信長を襲います。戦国の英雄、織田信長の最期の場面です。

笹川 剛

二 屋 島 の 誉 れ

源平の戦で一の谷の戦いに敗れた平家は屋島に結集し、再び両軍相對して一進一退を繰り返しますが、日暮れと共に戦場に静寂が訪れます。その時、平家方の船の舳に扇を掲げた一艘の舟が現れます。

小林 信子

三 俊 寛

平家への謀反の企てにより鬼界ヶ島に流された俊寛、都から赦免の使いが来ますが、仲間だけが許され、俊寛の名はありませぬ。俊寛は独り島に残され、悲しく仲間を見送ります。

稲村 奏水

四 巴 御 前

木曾義仲の愛妾巴御前は、源平相争う時代に生きた美貌と武勇で知られている女性です。義仲は源氏の軍勢に追われ、僅か数騎となり、巴に逃げのびるよう告げます。

小林 璃水

五 雪 晴 れ

江戸城松の廊下の刃傷事件、吉良上野介はお咎めなし、浅野内匠頭は即日切腹の上御家断絶。此の仕置に憤激した赤穂家急進四十七人は元禄十五年師走十四日、本所松坂町の吉良邸に討ち入りました。

塚原 崇水

午後二時五十分頃

休憩

支部長ご挨拶

六 栗 橋 の 静

しづやしづ、しづのをだまき緑りかへし、昔を今になすよしもがな。判官の後を追ひ、陸奥へと旅立つた静は、武蔵国、栗橋で衣川にて敗れた義経の死を知らされます。

本間 彩水

七 富 士 山

旭日の茜雲間に照り映えて、裾野は遠く松枝に見えつ隠れつ緩やかに大空高く聳えたる神の世を示す尊さよ。晴れてよし曇りてもよし富士の山もとの姿はかはらざりけり。

大鼓 浮部 博貴
琵琶 本間 花水

八 鉢 の 木

鎌倉幕府に忠心を誓うも今は貧しい暮らしの佐野源左衛門常世が大雪山の晩、旅僧に身を隠した北条時頼をもてなす為倉の一大事に、いた鉢の木を薪にします。年が明けた春、鎌

師岡 響水

九 曲 垣 平 九 郎

三代將軍徳川家光は芝の増上寺参詣の帰り、愛宕神社の下を通ると見事な桜に目を止め、居並ぶ諸侯に「騎馬で石段を登り花を取ってくるよう命じます。大名達は互いに顔を

吉川 泷水

十 巖 流 島

宮本武蔵は、小倉藩主細川忠興の剣術指南役として名高い佐々木小次郎を倒して名を挙げようと戦いを挑み、関門海峡の小島・舟島が決闘場となつた。小次郎の長刀に対して武蔵は更に長い木刀で一騎打ち。

剣武 有田 翔竜
琵琶 茅野 琛水

午後四時終演予定

ご来場及びご清聴賜り誠にありがとうございました。
次回、令和四年十一月六日(日)にもご来場ください。